

臨時号

グリーン・ウェーブ GREEN WAVE グリーンコープのうねりを地域へ

6/8 第十七期
通常総代会報告

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多博通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●http://www.greencoop.or.jp/

「楽しむひろがるグリーンコープ」 一人ひとりが楽しく 活動をひろげていきましょう



▲あいさつをする三原理事長

熊本地震から1年が経ちました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被害を受けた皆さまへの御見舞いを申し上げます。今もなお被災された皆様が力と心を寄せ合い助け合っているのを感じます。グリーンコープとして今後も「生命(いのち)」に寄り添った支援活動を続けていくことを、総代会の場で誓い合いたいと思います。

本総代会では、グリーンコープ生協ふくおかで2014年度よりV字回復を遂げその後も続く組合員増と供給増の嬉しい報告をします。「地域に飛び出せグリーンコープ」「打って出る」の合言葉を確認した2014年度より組合員、職員、ワーカーが地域に飛び出し続け、利用普及活動に創意工夫をした結果です。また、自分たちのお店として検討し呼びかけられるお店作り特別増資には言葉に想いがあります。その結果予算も達成し、リニューアルしたお店や新設のキープ&ショップも順調に推移しています。

(理事長 三原 幸子)

来賓祝辞

福岡県

「グリーンコープ生活協同組合ふくおか」第17期通常総代会の御盛会を心からお慶び申し上げます。貴組合におかれましては、設立以来長きにわたり、相互扶助の精神の下、物資の供給事業や福祉事業などを通じて組合員の福利厚生の上昇に努められ、地域住民の福祉の向上に貢献されてこられました。三原理事長を始め、役員及び組合員の皆様の平素からの御尽力に対して、心から敬意を表します。さて、貴組合におかれましては、平成20年度から県との協働により、多重債務を負う人々からの相談に対応するほか、家計診断から債務整理後の生活再生に必要な資金の貸付までを行う多重債務者生活再生事業に取り組みられています。さらには、県内四地区において、生活困窮者の早期自立支援や家計相談、子育て世帯の二元的な相談対応にも、県の委託を受けて取り組んでおられます。そして、宅配などの日常業務において察知した一人暮らしの高齢者の異変を速やかに市町村に通報する「見守りネットふくおか」の活動にもご協力いただいているところであります。本県では、引き続き貴組合を始めとする消費生活協同組合などと手を携え、安全・安心のまちづくりを進めてまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願いいたします。



▲福岡県人づくり・県民生活部生活安全課課長 本田 航二さん

北九州市

現在の日本では、全国的に核家族化の進行や共働き世帯の増加など社会状況が変化中、保護者が仕事を終えて帰宅する時間が20時以降という家庭も少なくない状況にあります。

このため、北九州市ではひとり親家庭や共働き家庭など、仕事等の理由で保護者の帰宅が遅くなる



▲北九州市子ども家庭局子ども育成担当部長 兼田 昌一さん

家庭の子どもを対象に、親が帰宅するまでの間、多くの人々と触れ合える「子ども食堂(子どもの居場所)」を小倉北区日明と八幡東区尾倉に開設しました。グリーンコープ生協ふくおかには、社会福祉法人グリーンコープとの共同事業体で、小倉北区の日明市民センターで実施している「日明けんきもりもりハウス(子ども食堂)」の運営をお願いしています。「日明けんきもりもりハウス」では、スタッフの皆さんがグリーンコープ生協ふくおかの安全安心で栄養価の高い食材を使用し、心を込めて作った温かい食事をみんな一緒にしています。保護者からは「以前よりも好き嫌いを言うことも少なくなり大変助かっている。」などといった声が寄せられ、全体的に料理を残すケースがかなり減り、大半の児童が「おかわ

り」をするようになりました。また、北九州市立大学や西南学院大学、福岡教育大学の学生さんをはじめ、地域の方や地元小学校の先生も食事や子どもの見守りに参加していただいています。このように多くの方に支えていただきながら地域に根ざした活動をしている「日明けんきもりもりハウス」の運営モデルは、市内外を問わず子ども食堂に興味のある皆さんから注目されています。今後とも、本市といたしましては、子ども食堂の活動を通じて、子どもたちが夢と希望を持って、健やかに育つことができる社会の実現を目指し、子どもたちの生活向上に向けて環境づくりをしっかりと行っていくためにも、グリーンコープ生協ふくおかをはじめ、地域や学校とともに連携しながら実現にむけて頑張っていきたいと思っております。

グリーンクラブ



▲グリーンクラブ支部長 松下 剛さん

本日は第十七期通常総代会の開催、誠にありがとうございます。

私たちがグリーンクラブはグリーンコープ様に商品を納入する業者の会ですが、本年4月時点で会員総数429社の会です。その中でふくおか支部は一昨年の県内3支部の合併を経て、同じく4月時点で171社が在籍しており、全体の約40%を占めております。これにエリア外の会員の希望参加であるサポーター会員が65社あり、あわせて236社となります。この236社はグリーンコープ生協ふくおかの応援団であるご理解ください。

さて、グリーンコープ生協ふくおका様は「地域に飛び出せ」を合言葉に、応援団の我々もびっくりするほど県内のあちらこちらで、いろんな活動を展開され、新しい仲間づくりはもちろんです。グリーンコープ運動のアピールをすすめてまいります。先日開催させていただきましたグリーンクラブふくおか支部会ではその活動の様子をご案内頂き、商品の取引を超えた市民、生活者の一人として共感共鳴したところです。来年はグリーンコープ連合結成30周年を迎え、更に組合員の皆さんがグリーンコープを実感できるいろんな取り組みを計画されているとお聞きしています。私たちグリーンクラブも30周年をともに祝い、一緒に取り組ませて頂きたいと願っております。

グリーンコープ生協ふくおかの今後の活動は、心より祈念し、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

閉会あいさつ



▲木室中部地域理事長

楽しく
グリーンコープ運動を
拡げていきたいと
思います

組合員の皆さん、総代会が無事終わりました。お疲れ様でした。今年の総代会はいかがだったでしょうか。たくさんのご意見が届けられました。これからの私たちの活動に活かしていこうと思います。私自身、一人の組合員として、今年度も昨年ひき続き2年連続黒字決算という報告が聞けて嬉しく思います。

報告にもありましたが、建て替え後2年かけて黒字化を目指していた久留米南町店が1年目にして黒字になりました。また、開店以来1度も黒字になったことがなかったから店も黒字になりました。これはとても素晴らしいことだと思います。組合員が自分たちのお店と意識し、組合員、職員、ワーカーが一緒になってお店づくりを取り組んだ結果だと思っています。

今年度のグリーンコープふくおかのキャッチフレーズは「楽しむ、ひろがる、グリーンコープ」です。昨年まで2年間「元気に飛び出せ」と付いていたのですが、今年にはあえてその言葉をつけませんでした。なぜなら、言葉にしなくとも、自然と地域に飛び出して活動している私たちがいたからです。今、私たちの住んでいる町にキープ&ショップがたくさんオープンしています。その地域に住む組合員がキープ&ショップが欲しい!と声を上げ、現在では23ヶ所も誕生しています。このように住んでいる地域の中にグリーンコープ運動や私たちの活動を発信していく場が増えとても嬉しく思います。

私たち組合員は2016年度たくさんの方の意見交換を行いました。組合員はやりたい事をやりたいだけやる。やりたいことを実現するために様々な意見交換を行います。まずは地域組合員の声を聞き、地域委員会で話し合います。例えば同じ班の組合員や地域の員外の方のご意見でも良いと思います。それを支部委員会につなぎ意見交換し、地域理事会、単協理事会、そして今日の総代会へと意見をつないで、また組合員へと返していきます。多数の意見を押し付けられることなく、自分自身が納得できるまで、全員が納得するまで何時間も意見交換することもあります。私はこのようなグリーンコープの姿勢がとても大好きです。

人々が幸せに暮らしていくために、何が必要でしょうか。安心、安全な食べ物、環境、福祉、平和、脱原発社会、様々なものがあると思いますが、そのように考えた時に、グリーンコープ運動はどれ一つ欠かせません。来年度グリーンコープは30周年を迎えます。ずっと未来にグリーンコープがあり続けるために、組合員はたくさん意見交換しつづつ、楽しく、グリーンコープ運動を拡げていきたいと思っています。

(中部地域理事長 木室 裕子)

優秀味覚賞を受賞した産直びん牛乳! もっともっと飲む人を増やしていきましょう。

キャラバン台車出動しています

母牛の飼料、飼育方法、生乳の殺菌温度にもこだわり、さらにこの牛乳のおいしさをビンに詰め込みました。このビンは、30回以上リサイクルできるので環境にもやさしい。しかも適正価格!

組合員の愛すべき自慢の産直びん牛乳が、今回この賞に選ばれました。

味覚のプロたちが認める産直びん牛乳! これからも、もっともっとアピールしていきますよ。



▲ベルギー(ブリュッセル)での授賞式に出席した三原理事長。ヨーロッパで美味しさがみとめられました



▲試飲は好評です



▲食べもの委員長中心に行ってます

キャラバン台車での産直びん牛乳の試飲は老若男女どなたにもいつも大好評です。観光で福岡を訪れた海外の方からも、いつも「おいしい!」の声が聞けます。

びん牛乳のおいしさは世界共通です。

議案と採決結果

総代定数380名 有効票数377票 (委任状を含む出席144名 書面議決書233名)

議案	採決結果
第一号議案：2016年度活動報告承認の件	賛成多数により可決承認 保留2・反対0
第二号議案：2016年度決算報告及び損失処理(案)承認の件	賛成多数により可決承認 保留3・反対0
第三号議案：2017年度活動方針決定の件	賛成多数により可決承認 保留4・反対0
第四号議案：2017年度予算決定の件	賛成多数により可決承認 保留3・反対0

議案	採決結果
第五号議案：定款変更の件	賛成多数により可決承認 保留2・反対0
第六号議案：連合会及び他の団体への加入又は脱退範囲決定の件	賛成多数により可決承認 保留4・反対0
第七号議案：議案決議効力発生の件	賛成多数により可決承認 保留2・反対0
第八号議案：役員並びに選挙人選任の件	賛成多数により可決承認 保留2・反対0

※議長2名は採決の数に含まれていません。



▲議長を務められた八幡西支部 水野 理恵さん(右) 筑紫支部 丸山 晶子さん(左)



▲会場の様子

<16年度決算と17年度予算>

- (一) 総供給高250億8,672万円で予算比96.8%(▲8億1,792万円)と予算を下回りましたが、前年からは100.5%(1億1,670万円増)と供給を維持することが出来ました。事業総剰余金は73億2,314万円(予算比98.7%)となりました。
- (二) 事業経費合計は、74億4,134万円(予算比98.7%)でした。
- (三) 事業外収支等3億1,074万円を受け入れ、税引前剰余金は1億9,254万円の黒字となりました。昨年総代会で議決いただいた予算(1億7,475万円)を1,779万円超過することが出来ました。事業別には、配送共同購入2億6,977万円、お店共同購入▲7,613万円、生活再生・困窮者支援0円、介護保険等▲110万円です。
- (四) 法人税等2,516万円の計上を行い、当期剰余金は1億6,738万円です。
- (五) 結果、当期首繰越損失金▲9億7,037万円から8,369万円の処理を行い当期末処理損失金を▲8億8,668万円、繰延税金資産3億6,079万円から同額の8,369万円の取崩を行い2億7,709万円とします。

	〈単位：千円〉			〈単位：千円〉	
	'16実績	予算比	予算差	'17予算	前年比
供給高	25,086,717	96.8%	▲817,922	25,879,233	103.2%
供給剰余	6,692,574	98.6%	▲92,585	6,807,946	101.7%
事業総剰余	7,323,136	98.7%	▲98,840	7,470,958	102.0%
人件費	2,433,334	100.4%	8,791	2,536,838	104.3%
物件費	5,008,005	98.0%	▲102,994	5,077,325	101.4%
経費合計	7,441,339	98.7%	▲94,203	7,614,163	102.3%
事業剰余	▲118,203	104.1%	▲4,637	▲143,205	121.2%
事業外収入	335,699	106.7%	21,195	314,452	93.7%
事業外費用	1,215	55.4%	▲979	1,214	100.0%
経常剰余	216,281	108.8%	17,536	170,032	78.6%
特別損益	▲23,741			0	0.0%
税引前剰余	192,540	110.2%	17,795	170,032	88.3%
法人税等	25,156				
法人税等調整額	83,692				
税引後剰余	83,692				